

報道機関 各位



TOHOKU
UNIVERSITY

平成 24 年 4 月 5 日
仙台市青葉区星陵町 4-1
東北大学加齢医学研究所
スマート・エイジング国際共同研究センター
センター長 川島 隆太
電話 022-717-7988

平成 24 年度スマート・エイジング・カレッジ開講式の開催

平成 24 年 4 月より加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センター(以下、本センターとする)では新規事業として、地域住民約 100 名を受講生として公募し、東北大学教員や若手研究者による1年間の講義コースを行います。この講義コースでは、スマート・エイジングをテーマに、地域住民の皆様と東北大学の若手研究者や学生が共に学びあう場を作り出すことで、地域住民の皆様と一緒に生きた研究環境を東北大学に実現することを目的としております。国立大学においてエイジングをテーマに高齢者と若手学生・院生とが大学キャンパスにおいて学び合う仕組みはこれまでにない初めての試みとなります。

なお、本センターはエイジングによる経年変化に賢く対処し、個人・社会が知的に成熟すること、いわゆるスマート・エイジングに係る国際的な共同研究推進体制を構築するため、平成 21 年 10 月 1 日に設置されました。

つきましては、平成 24 年度スマート・エイジング・カレッジ開講式を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

記

日時 平成24年4月13日(金)午前9時30分から
場所 東北大学加齢医学研究所
スマート・エイジング・国際共同研究センター 1階 国際会議室
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 4-1

以 上

<本件問い合わせ先>

川島 隆太 (かわしま りゅうた)
東北大学加齢医学研究所
スマート・エイジング国際共同研究センター 教授
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 4-1
TEL: 022-717-7988
E-mail: fbi@idac.tohoku.ac.jp

スマート・エイジング・カレッジは、スマート・エイジングをテーマに高齢者と若手学生・院生・教員が大学キャンパスにおいて学び合う仕組みです。一般の高齢者約 100 名を受講生として公募し、東北大学教員や若手研究者による、スマート・エイジングに関する1年間のコースを行います(別紙参照)。場所はスマート・エイジング国際共同研究センタービル1階の国際会議室を使用、隔週金曜日の午前中に2コマ(1コマ1時間)の講義を予定しています。

また、将来、講義テーマをもとにした各種ゼミも随時開設予定です。受講生には受講証、修了証を発行します。さらに、受講生は、本センターにおけるスマート・エイジング研究のボランティアとしても活躍いただくとともに、優れた受講生には若手研究者のメンターとしても活躍いただく予定です。

スマート・エイジング・カレッジは、若手学生に対する社会教育と高齢者の能力発揮を組み合わせた超高齢社会における新たな学び舎を目指すとともに、地域社会のさまざまな高齢化に関わる問題に賢く対処できる「スマート・エイジング・コミュニティ」に変えていく触媒としての役割を担うもので、国立大学においてエイジングをテーマに地域住民と若手学生・院生とが大学キャンパスにおいて学び合う仕組みはこれまでになく、本カレッジは若手学生に対する社会教育、地域住民の能力活用の意味でも画期的な事業となります。

<用語解説>

スマート・エイジング

本センターが提唱する「スマート・エイジング」は、少子化・超高齢社会における新しい概念です。いわゆる「アンチエイジング」のように、高齢期を認めたくない・遭遇したくないという意味が込められたネガティブな概念とは全く異なります。我々の提案は、高齢期を「知的に成熟する人生の発展期」として積極的に受容しようというもので、高齢社会に対する考え方のパラダイムシフトであると考えています。本センターが今後発信する研究成果は、加齢と共に人生が豊かになっていくことを実感し(高齢者の活力)、その結果、老若男女を問わず世代を超えて誰もが知的好奇心によって繋がり、お互いを支えあう「知縁社会」の実現を実現(世代間の知恵の共有)に繋がると確信しています。

別紙 平成24年度スマート・エイジング・カレッジ講義日程(予定)

	1時限目(9:30~10:30)		休憩	2時限目(11:00~12:00)	
2012年4月13日	開 講 式 (センター長 川島隆太)			認知機能検査	
4月27日	山家智之 (加齢研・教授)	「人間は機械である？」という考え方と治療法		佐藤靖史 (加齢研・教授)	がんと血管:がんの兵糧攻め
5月11日	桐原健真 (文学・助教)	「あの世」はどこへ行ったか?近代日本における死生の行方		石井山竜平 (教育学・准教授)	生涯学習と社会参加
5月25日	高井俊行 (加齢研・教授)	アレルギーの仕組みと免疫のふしぎ		辻本昌弘 (文学・准教授)	地域社会の死生観
6月8日	鈴木岩弓 (文学・教授)	現代日本人の死生観の変化		西條芳文 (医工学・教授)	人は血管とともに老いる?
6月22日	加藤道代 (教育学・教授)	ライフサイクルにおける老年期~人生のこれまでとこれから~		小笠原康悦 (加齢研・教授)	加齢と生体防御
7月13日	福本 学 (加齢研・教授)	加齢・老化のかたち		田中耕三 (加齢研・教授)	がんと染色体異常
7月27日	菊池雅彦 (歯学・教授)	健やかな老後と口の健康		認知機能検査	
9月14日	大類 孝 (加齢研・教授)	高齢者に肺炎が多いのはなぜか?その予防法は?		齋藤美華 (医学・講師)	高齢者の転倒予防
9月28日	田村眞理 (加齢研・教授)	加齢とがん I		駒井三千夫 (農学・教授)	健康の維持に必須なビタミンの話
10月12日	永富良一 (医学・教授)	老化にまけない錬筋術		村井ユリ子 (薬学・准教授)	薬と上手に付合う知恵 —健康長寿のために—
10月26日	阿部恒之 (文学・教授)	加齢と美しさ		戸島貴代志 (文学・教授)	逝く、ということ
11月9日	下夷美幸 (文学・准教授)	家族の絆 —いま、求められる新しい形—		堀内久徳 (加齢研・教授)	血液さらさら療法の考え方と実践
11月30日	関 隆志 (医学・講師)	元気になる鍼治療		行場次朗 (文学・教授)	知性と感性の心理
12月14日	井上奈穂 (農学・助教)	カラダにいい油、悪い油		佐竹正延 (加齢研・教授)	医学と進化
2013年1月11日	星川 康 (加齢研・助教)	「病は口から?」—手術と肺炎の話、たばこの話—		辻 一郎 (医学・教授)	病気になりやすい性格
1月25日	北村勝朗 (教育情報・教授)	わさを極める! ~老練なわさがつくられるしくみ~		荒井啓行 (加齢研・教授)	認知症のお話
2月8日	筒井健一郎 (生命科学・准教授)	やる気と生きがいの心理学と生理学		秋山聖子 (加齢研・助教)	加齢とがん II
2月22日	山本徳男 (加齢研・教授)	コレステロール:その善と悪		村田裕之 (加齢研・教授)	世界中で進む高齢化と日本の役割
3月8日	渡辺 彰 (加齢研・教授)	日本の高齢者死因第一位の「肺炎」への対処を考える		認知機能検査	
3月22日	福田 寛 (加齢研・教授)	PET(ペット)によるがん診断って何?		修 了 式 (センター長 川島隆太)	

<会場案内図>



東北大学加齢医学研究所 スマート・エイジング国際共同研究センター 1階国際会議室
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
TEL: 022-717-7988

詳細は次の加齢医学研究所アクセスマップを参照ください。

<http://www.idac.tohoku.ac.jp/ja/access/railway/index.html>